



はていはてい



HATI-HATI

HATI-HATIはインドネシア語で相手を思いやる時に使うやさしいことばです。

本場のベトナム料理「Nem cuốn（生春巻き）」の作り方を学びました。

「クオン（Cuốn）」は「巻く」という意味で、「ネム（Nem）」は「生春巻き」を指すそうです。つまり、エビや野菜を入れて巻いた生春巻きのことを「ネム・クオン」と呼ぶのだそうです。今回の具材は、エビ・きゅうり・ニラ・レタス・ゆで豚・そしてパイナップル。

これまであまり意識せずに巻いていましたが、見た目が美しく仕上がるよう巻くことの大切さを学びました。ベトナム出身の先生が見本を見せてくださると、その仕上がりの美しさにみんなが驚きました。やはり、見た目の美しさは食欲にもつながりますね。

ソースも手作りで、ヌクマムを使った本場の味。日本にいながら、ベトナムの風を感じることができました。

また、参加してくれたインド出身の方が「次はインド料理を紹介したい」と言ってくれました。その言葉を聞いて、これこそが多文化共生だなと感じました。



「Hati hati」とは - 言葉の奥にある思い -

公益社団法人トレイディングケア 小笠原広実

この広報誌の名前である「Hati hati（ハティ・ハティ）」は、インドネシア語で「気をつけて」「注意して」という意味です。「Hati」だけだと「肝臓」や「ハート」という意味ですが、2つ重ねるとまったく違う意味になります。

私は約5年間、インドネシアの日系クリニックで働いていました。その間、この言葉を毎日のように耳にし、口していました。たとえば、水の入ったコップを運んでいてこぼしそうな時、雨の日に足元が滑りそうな時などに、「Hati hati ya！（気をつけてね）」と声をかけ合っていたのです。また、少し離れた町に出張に行くときに、「あの地域は犬の肉を食べる習慣があるから、レストランに行ったらメニューをしっかり見てね。Hati hati ya！」と言って送り出してくれたことがありました。そんなことから、私はHati hati という言葉を、注意を促す言葉だととらえていました。

ところが、広報誌の名前の説明に「相手を思いやるやさしい言葉です」と書かれているのを見て、はっとしました。日本でも「いってらっしゃい、気をつけてね」と毎日のように言いますが、そのとき私たちは、何か具体的に注意を促しているわけではなく、「元気で行ってきてね」という気持ちを込めています。これまで私は「Hati hati」をそうした思いやりの言葉として受け取っていませんでした。でも今になって思うと、あのとき周りの人たちは、みんなやさしい気持ちで声をかけてくれていたのだと気づきました。

同じ言葉であっても、その奥にあるその人の思いをどのように受け止めるかがとても大切なのだと思いました。

今月の日本語

「非常口はどこ？」

日本語教師 林 三郎

駅や建物の中では、非常口のマークを必ず見かけますね。これを考案し、デザインしたのが日本人だそうです。もとは「非常口」の文字だけの看板だったのが字の読めない外国人にもわかりやすいデザインになり、背景の色も、火事の炎の中でも目立つ、「赤色の補色」の緑色になりました。そしてこのマークは世界に広がりました。非常口そのものを示しているものと、非常口の方角を示している矢印のついているものとあります。



非常口



これらのマークはピクトグラムと呼ばれています。言葉が分からぬ人にもわかりやすくなっています。デザインもシンプルでおしゃれですね。身近にあるものを紹介します。意味がわかりますか？



また、災害時に大切なマークもあります。日頃から確認しておかれるべく安心ですね。

「10月1日よりお願いします」

10月1日よりスタッフになりました。市川直人と申します。大府市出身です。このたびご縁があり公益社団法人トレイディングケアへ入社させていただきました。趣味は、野球観戦（高校野球・プロ野球）で、地元高校やドラゴンズを応援しています。好きな食べ物は、お刺身・焼肉です。介護福祉士として、特別養護老人ホームやデイサービスセンターで勤務し、西三河の専門学校で19年間介護福祉士の育成に努めて参りました。

トレイディングケアのインドネシアから就職後までの継続した支援や関わりを持つことに、強く共感させていただきました。外国人介護士の方たちが「良い顔をして日本で生活できるように」。これまでの経験を活かし、外国人介護士の方たちが、安心して長く働き、生活できる環境を作るお手伝いさせていただきます。そして、外国人介護士の方たちの夢である「介護福祉士」を一緒に目指していきます。不慣れな点も多いため、皆さまから学ばせていただきながら、一日も早くお役に立てるよう努力してまいります。
どうぞよろしくお願ひいたします。



←社会福祉法人南知多様のファドリさん、ティアラさん、カナンさんが来てくれました😊

編集後記

みなさんは、外国で日本語を耳にしたことがありますか？私は外国で日本語を聞くと、とても嬉しい気持ちになります。インドネシアからの技能実習生もインドネシア語でいさつをすると、とても喜んでくれます。相手を思いやる言葉は、元気や勇気を与えてくれますね。

ぜひ、技能実習生のみなさんに「Hati-hati ya！（気をつけてね）」と声をかけてみてください。きっと喜んでくれると思います。 鶴見

日本の祭りの季節に感じたこと



私たち外国人の目から見ると、日本での生活はとても静かで、そして冷たく感じられることがあります。人々は慌ただしく仕事に向かい、夜遅くまで残業をしています。電車の中は驚くほど静かで、居眠りをする人、本を真剣に読む人ばかりで、誰も会話をせず、笑い声すら聞こえません。その様子は、私たちの国にぎやかで活気ある日常とはまるで正反対です。

ところが、祭りの季節になると、日本は別の国のように変わります。華やかな花火、町中で行われるお祭り、人々はみんな外に出て楽しんでいます。子どもたちは浴衣を着て、親に手を引かれながら嬉しそうに歩き、若者たちは新しい服を身にまとって笑顔で友達と話しながら過ごしています。それでいて、どこかきちんと整っていて、騒ぎ立たず、トラブルになりすることはありません。にぎやかさの中にも秩序があり、とても日本らしい雰囲気です。

そんな光景を目にしたとき、私の心はふっと温かくなりました。ふるさとの祭りを思い出し、家族や友人と過ごしたあの笑顔あふれる時間がよみがえってきました。祭りの中の日本は、もはや遠い異国ではなく、どこか懐かしく、親しみ深い場所に感じられたのです。

ジウ

2025年9月インドネシア
Yuukiトレーニングセンター
介護・日本語講習の様子



@TSUNAGU_TAKAHAMA

公益社団法人トレイディングケア
〒444-1303
愛知県高浜市小池町6-5-6
TEL 0566-57-7700
FAX 0566-57-7700
日・月・祝日はお休みです。